

加賀中ブロック大会規定

1. 試合は、2014年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」及び一部能美支部ローカル・ルールを適用し、試合球は公認C級とする。
2. 監督・コーチは、20歳以上の成人とし、チームと同一のユニホームを着用すること。
また、監督の背番号は30番、コーチは28番と29番、主将は10番とする。
3. 選手登録（ベンチ入り）は、1チーム20名までとし、選手以外のベンチ入りの大人は、監督、コーチ2名、スコアラー1名を含めての5名以内とし、監督、コーチ以外は、私服で当該チームの帽子を着用のこと。
4. 各チームは、試合開始30分前に集合、また移動を伴うチームに関しては流動的に大会役員指示に従うこと。（第2試合以後は前試合の4回終了時）またメンバー表5通を本部へ提出すること。（メンバー表は、本部1、アナウンス1、記録1、相手チーム1、自チーム1）先攻・後攻は、トスにて決定する。（トス時間に来ないチームは、棄権とみなします）
5. 試合は7回までとし、時間制限は2時間30分とする。
6. 試合終了後（7回終了後）、同点の場合は特別ルールを適用するが時間優先とする。

*特別ルール

両チームが1日1試合及び2試合の場合

規定回終了時、同点の場合は、直ちに特別延長戦に入り、決着のつくまでこれを繰り返す。
但し試合開始より2時間30分経過しても同点の場合は、新しいイニングを行わずに抽選により勝敗を決定する。抽選方法は、本部指示にしたがうこと。

《特別延長戦（プレーオフ）》

両チームとも無死満塁とし、打順は前イニングスの継続打順とする。この場合において、走者は、当該打者直前の3人を3塁2塁および1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。投手・野手を交代させても何ら差し支えない。ただし、一度出場し交代した選手は、出られない。

7. 点差によるコールドゲームの成立は、5回終了以後7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立するものとする。（コールドゲームに関して決勝戦・三位決定戦は除く）
8. ベンチは、抽選番号の若い方が1塁側とする。
9. 試合中における抗議権や選手交代は、監督又は当事者に限り認めるが、試合の迅速化に協力すること。
10. 打者、次打者、走者及びランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。また、捕手は控えの選手も含めて、ヘルメット、マスク、プロテクター、股間用保護具（カップ）及びレガースを必ず着用しなければならない。
11. 試合中の手袋は、白又は黒のみ許可する。（ツートンはだめ）。また、リストバンドは原則禁止とする。ただし、何らかの事情で、包帯、傷バンド等を保護するために使用したい場合は、大会本部に申し出ること、必要に応じて、認めることもある。

高円宮賜杯第34回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント
加賀中ブロック大会 兼 竹田 三郎追悼記念大会

12. グラウンド整備や試合の進行は、能美学童野球連盟が責任をもって行う。ただし、グラウンド整備には各チームが協力すること。
13. 野球用具は、全日本軟式野球連盟が公認したものであること。
14. 各試合の選手登録表提出後は、選手の変更及び背番号の変更は認めない。
15. シートノックは後攻より5分間認める。ただし、天候の具合等により認めないこともある。
(2日目〈2回戦・準決勝〉は、2回戦のみシートノックを行う。)
16. 投手は、1日7イニングまでとする。ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。3年生以下にあっては、1日5イニングまでとする。
17. その他の事項については、審判員の指導に基づき、試合を遂行する。
18. 応援席の整理整頓は、当該使用チームが責任をもって当てること。
19. 野球場等の施設の、試合当日の最後の整理整頓は、最終試合における両チームが責任をもって行うこと。また野球場管理棟の清掃については、最終ゲームの勝利チームが行うこと。
20. 開会式は、ユニホームを着用した登録選手以外の選手の参加を認める。
21. ベンチ内の缶入り飲料は持ち込みを禁止し、その他についても、ベンチ後方にて飲料すること。
22. 試合中は、当該チームから1名以上の放送係を出して、試合進行に協力すること。
23. 審判への給水について
給水は、本部席・運営部にて行う。
給水を行う回は、試合開始前に審判と本部席で協議し決定する。
給水は一塁側のグラウンドの外で行い、グラウンド内に入らない。
給水を行う時には、給水のアナウンスを放送する。

試合上の注意事項

別紙にて参照

試合上の注意事項

- ① 大会趣旨を十分に理解し、目に余る行為をしないこと。
- ② バット・ヘルメット・ボール等は、グラウンド内に置かないこと。
- ③ 投手の滑り止め（ロージン）は、各チームで用意すること。
- ④ 各回の先頭打者、次打者及びランナーコーチは、ミーティングに参加しないで直ちに定位置に着くこと。
- ⑤ ラフプレイは、絶対に許されない。特に、足を高く上げてのスライディングは危険であるため禁止する。
- ⑥ 攻守交代は、元気よく全力疾走で行うこと。
- ⑦ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ⑧ 内野手の転送球は、試合進行の関係から、原則として、これを行わない。
- ⑨ 指導者の選手に対する暴力的行為や指導者としてのあるまじき行為は、許されない。
- ⑩ 応援について、鳴り物、うちわ及びメガフォン等の使用は禁止する。
- ⑪ 個人的に攻撃するヤジは、絶対に行わない。ベンチからだけでなく、応援席もこれに倣うこと。
- ⑫ ショートの守備 二塁ランナーへのブラインド禁止（牽制時等）
- ⑬ ホームランを打った後の走者に対して走塁中の身体への接触の禁止
- ⑭ 一・三塁への牽制時の偽投の禁止（最初からボークを取ります）
- ⑮ 監督【30】、コーチ【28】【29】、及び登録選手以外は絶対にグラウンドに入らないこと。
- ⑯ 試合前のアップについて、トスバッティング、フリーバッティング、バント練習などバットを使用するアップは禁止します。第一試合のチームで早めに球場入りしアップを行う場合は、アップシューズにて行い、シートノック前に速やかにスパイクに履き替えて下さい。第二試合以降のチームは、アップ時間が短いためスパイクで行っても良いです。
- ⑰ ブルペン使用について、次試合チームのブルペン使用はトス完了後より行ってください。ただし先発ピッチャーのみです。現試合中のチームと次試合のチームお互いに調整して使用してください。
- ⑱ 開会式の行進は、アップシューズまたはズックを履くこと。